

令和5年度 第2回四街道市指定管理者選定評価委員会
(福祉施設等合議体) 会議概要

| | |
|------|--|
| 開催日時 | 令和5年8月4日(金) 13:00~15:30 |
| 開催場所 | 四街道市役所 分館2階 入札室 |
| 出席委員 | 石村委員(会長)、森委員(副会長)、緒方委員、古川委員、川上委員 |
| 欠席委員 | なし |
| 事務局 | 契約課:星課長、岩淵係長、橋本主任主事、影山主任主事 |
| 説明者 | 社会福祉課:岡田課長、加藤係長、善塔主事 子育て支援課:笠松課長、能勢課長補佐 障害者支援課:坂本課長、志村課長補佐、宮内係長、石田主事 |
| 開催形態 | 公開 |
| 傍聴者 | 0人 |

会議概要

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 諮問(指定管理者評価依頼書をつけて諮問)
- 4 経営企画部長あいさつ
- 5 議事録署名人の選出(森委員、古川委員を選出)
- 6 議題
令和4年度に実施された指定管理者による施設管理状況の評価
①四街道市国民保養センター鹿島荘
②四街道市総合福祉センター及び四街道市南部総合福祉センターわろうべの里
③四街道市福祉作業所
- 7 答申(指定管理者評価結果通知書をつけて答申)
- 8 その他
- 9 閉会

議題 令和4年度に実施された指定管理者による施設管理状況の評価

①四街道市国民保養センター鹿島荘

社会福祉課:(資料説明)

森 委 員:ごみ処理場の関係で事業を継続している施設で、老朽化が進むなか指定管理者が運営してくれている。引き続き事故のないように運営してもらいたい。

緒 方 委 員:3年度と比較し4年度の自主事業収入が増えているのはなぜか。

社会福祉課：自主事業収入が増加したのは、利用者が増加したことによるものである。コロナで自粛していた時期に比べ、自主事業に参加する人が増えたことにより自主事業収入が増えたと考えられる。

川上委員：19ページの分析課題のコメントにおいて、コロナ以前とは具体的にいつのことを指すのか。例えば、総利用者の項目では、コロナ以前の3割程度とあるが、30年度と比較すると利用者は約半分程度となっている。具体的に30年度と比較して、何割と表現するべきではないか。

社会福祉課：指定管理者へ伝えさせていただく。

森委員：10ページの自主事業の項目において、指定管理者はA評価としているが、少し甘い気もする。その部分で参加延べ人数を29%増やしたとあるが、対前年比なのかわからない。明確に書いた方が良いのではないか。

社会福祉課：そのようにさせていただく。

石村会長：何年度や前年度など、比較対象がはっきりする表記を心がけてもらいたい。

川上委員：分析課題のコメントは委員として精査する必要があるのか、それとも参考資料として見れば良いのか、どちらか。

事務局：19ページの資料などは、本施設にかかる事業報告書の部分となる。事業報告書自体は本委員会のために作成をしているものではなく、評価資料の参考資料として添付をしているものとなる。

川上委員：27ページの新型コロナウイルス対策において、結果として感染の報告がなかったとある。全職員の日頃のきめ細かい作業のおかげであり、大いに評価したい。また、今後お願いしたいと伝えていただきたい。

古川委員：いくつか質問したい。1つは、17ページの利用状況表において、男性の利用者数が女性よりもかなり多いことがわかる。一方で25ページのストレッチ・ヨガ教室は女性がかかなり多い。男性の利用者はどのような利用をしているのか。また、団体数も掲載されているが、どのような団体が利用しているのか。最後に、子どもの利用者数が0である。夏休み期間の学生が自習などに利用できるようにできないか。

社会福祉課：どのような団体が多いかというのはカラオケの団体が多い。大広間にて男性の高齢者を中心に利用している。子どもの利用者についての指摘はそのとおりである。夏休みの期間に学生中心に利用できるような事業について指定管理者と協議していく。

森委員：カラオケは無料なのか。

社会福祉課：そのとおりである。

石村会長：自習したいときに図書館が混雑していることもある。食堂を夏休み期間だけ開放するなど、自習室として利用できるようにしてあげてもらいたい

い。猛暑が続き、エアコン代も各家庭でかさむこともあるので、公共施設で涼しい場所を提供してもらえると嬉しいのではないかと。

社会福祉課：学生の利用は増やしたいと考えているが、カラオケをしている場所でもするため、工夫をしながら検討していきたい。

石村会長：他に意見はあるか。なければ、四街道市国民保養センター鹿島荘の指定管理者の評価に関する質疑を終了する。

②四街道市総合福祉センター及び四街道市南部総合福祉センターわろうべの里

社会福祉課、子育て支援課：(資料説明)

森委員：総合福祉センターは、社会福祉協議会の本部の人件費の支出が経理区分繰入金として掲載されている。この部分については昨年度も言及したが、4年度は0円ということで良かったと思っている。総合福祉センターは、風呂について毎年話題になっている。どのようにする予定なのか。

社会福祉課：現在は物置として使用している現状だが、令和8、9年度に予定している中規模改修+αにてスペースをどのようにするか決めて、改善していきたいと考えている。

森委員：総合福祉センターの2階の図書室は、空調が利いていて快適であるが、利用者がほとんどいない。学生に開放して使いやすくしてもらいたい。

緒方委員：風呂を修繕するべきである。災害時の避難所になる際にも風呂があると喜ばれるのではないかと。会長も、毎年言及しており、責任を持って対応してもらいたい。また、図書室も絨毯が敷いてあり、綺麗であるので積極的に広報するべきである。福祉センターは庁舎の建て替えで影響があるのか。

社会福祉課：福祉センターは建て直しに含まれていない。風呂場として残すのかどうかも検討していきたい。

川上委員：10ページに記載のある福祉センターまつりの概要を教えてください。

社会福祉課：105ページに計画段階の概要が掲載されている。結果的に、一般の来場者は認めず、参加団体者のみ来場し開催した。

川上委員：福祉センターまつりにかかる報告書は掲載されていないのか。

社会福祉課：そのとおりである。

川上委員：大変残念である。計画に記載があるのであれば、報告のレポートも見たかった。20ページの経営努力の項目において、施設所管課が「サービス向上に取り組んでいると認められる。」としたうえでB評価としている。水準どおりがB評価であり、水準を上回っているならばA評価が適切なのではないかと。

社会福祉課：取り組みは認めるが、水準を上回るほどではないとしてB評価とした。

古川委員：30ページの利用状況によると、児童センターは乳児、小学生、中学生の利用が結構ある。小学生、中学生にとっては学校や家庭以外の地域の居場所が大事である。小中学生が児童センターに遊びに来て、職員に声をかけてもらって話して帰ってくるのが楽しいという声も聞く。中学生は児童センターの1階に遊びにくることが多いのか。

社会福祉課：それ以外にも利用されている。

古川委員：39ページの児童センター主催事業に「高校生と遊ぼう」というイベントがある。これは高校生にとっても、乳幼児にとってもお互いにとってすごく良いと思う。この高校は四街道北高校か。

子育て支援課：高校名まではわからない。

古川委員：すごく良い取り組みだと思う。ぜひ、続けてもらいたい。

石村会長：福祉センターの風呂場部分が利用されていないのは、残念でありもったいないと思う。以前から言っているとおり、役所の目の前の建物を物置とするくらいなら貸し出してもらいたい。中規模改修+αを行うということならば、来年度までには概要だけでも示してもらいたい。図書室も高齢者だけに限定するのではなく、夏休み期間だけでも学生に対し開放を検討してもらいたい。

社会福祉課：条例において、設置目的等が定められているため、場合によっては条例改正が必要になるが、検討させていただきたい。

石村会長：せっかく空調が利いているのに、利用者がいないのはもったいない。一方でわろうべの里では、席が空くのを待っている学生がいるというのも問題である。

森委員：高齢になると、本の字も読みづらくなる。図書室を高齢者向けの施設と位置付けているのは見直すことも必要かもしれない。

社会福祉課：その部分も条例にかかってくる可能性がある。

石村会長：ぜひ、効率的に施設を利用できるようにしてもらいたい。

社会福祉課：検討させていただきたい。

石村会長：他に意見はあるか。なければ、四街道市総合福祉センター及び四街道市南部総合福祉センターわろうべの里の指定管理者の評価に関する質疑を終了する。

③四街道市福祉作業所

障害者支援課：(資料説明)

森委員：4ページの支出の部のうち、拠点・サービス区分間繰入金で4年度が0円ということで、無くなったというのは良かったと思う。グループホーム等との競争で利用者が増えないという話もあるが、もっと前から動い

て欲しかった。15ページに基本目的が記載されている。そのなかに「生産活動の機会の提供及び支援」とあり、この部分は評価している。本施設は就労継続支援B型であったか。

障害者支援課：地域活動支援センターⅢ型となる。

森 委 員：生産活動を教えるというのは福祉作業所の最も良い点である。

緒方委員：工賃は7,000円程か。

障害者支援課：6,000円から7,000円程である。

緒方委員：18ページによると、46歳以上の利用者が70%近くになっている。若い利用者が増えないと、グループホームとの競争に勝てない。

川上委員：拠点・サービス区分間繰入金について、確認したい。昨年度、書面にて確認事項について連絡があった。そのなかで、3年度については福祉作業所にかかる業務が増加したことにより、社会福祉協議会全体の法人運営事業職員の業務が増加したため、繰入金の充当額を増加したとあった。4年度については0円ということだが、5年度以降も特殊な事業が発生しない限りは区分間繰入金は0円になるということか。

障害者支援課：4年度はコロナウイルス感染症の関係で行わなかった事業が多々あったことから、それらに割く社会福祉協議会本体の事務も発生しなかったことから、区分間繰入金が0円となったと報告を受けている。5年度に特別な事情があれば、区分間繰入金が発生する可能性はある。その場合には、決算について来年度報告する際に説明させていただく。

森 委 員：区分間繰入金として、社会福祉協議会の人件費として充当していると報告書に記載することに疑問を感じる。

障害者支援課：福祉作業所だけではなく、福祉センターにおいても区分間繰入金は発生している。

森 委 員：施設単独で経理を完結できるように運営してもらいたい。

古川委員：コロナ禍でも開所日を減らさずに運営し、SNSの発信や多くの行事を行っており、評価したい。昨年度聞いた、地域との関わりについても努力をしていると感じる。利用者が増えないのは残念だが、例えば特別支援学校から帰ってきた方が過ごせる場を提供できると良いのではないか。週末などにレクリエーションができる場などは提供できないか。

障害者支援課：立地の問題があり、駅前の特別支援学校から福祉作業所まで向かうとなると送迎がないと難しい部分がある。提案いただいた、使用していない時の活用については検討させていただく。

古川委員：ボランティアセンターでは、中高生のボランティア体験を実施している。地域の中高生が福祉作業所に行って、ボランティアなどの交流をすることも検討してもらいたい。

石村会長：他に意見はあるか。なければ、四街道市福祉作業所の指定管理者の評価

に関する質疑を終了する。

令和4年度に実施された指定管理者による施設管理状況の評価に係る答申（案）

①四街道市国民保養センター鹿島荘

事務局：(資料説明)

石村会長：事務局からの説明に対して意見等はあるか。なければ「令和4年度四街道市国民保養センター鹿島荘に係る指定管理者評価表」については原案のとおりと決定し答申する。

②四街道市総合福祉センター及び四街道市南部総合福祉センターわろうべの里

事務局：(資料説明)

石村会長：事務局からの説明に対して意見等はあるか。なければ「令和4年度四街道市総合福祉センター及び四街道市南部総合福祉センターわろうべの里に係る指定管理者評価表」については原案のとおりと決定し答申する。

③四街道市福祉作業所

事務局：(資料説明)

石村会長：事務局からの説明に対して意見等はあるか。なければ「令和4年度四街道市福祉作業所に係る指定管理者評価表」については原案のとおりと決定し答申する。

答申後、閉会